

古里で家族支える

「大工として働く父の背中が、目に焼き付いていた」。幼少期から工具が身近にあり、物心ついた頃には父親と同じ

道をたどる決心をしていた。

「生まれ育った土地で、家族を支えて安心させたい」。自身

が携わることで地元が変わる

未来を思い描きながら、日々現場に足を運んでいる。

大館桂桜高校土木建築科を卒業後、秋田職業能力開発短期大学校住居環境科へ進学し

た。大学1年の夏から就職活

動を始め、自ら進んで同社の職場見学を希望。やる気で社員を驚かせた。

2年生の夏には、3日間の

インターシップに参加。着工から完成に至るまで、建設の流れが段階的に分かる現場で作業を体験した。働く人の

姿や生の声を肌で感じ、心が決まった。

現在は先輩に教わりながら、図面通りに作業が進んでいるかの確認を行っている。

「最初から最後まで携われるのがうれしい。早く現場に慣れたい」と目を輝かせた。

【谷地田誠取締役建築部長】仕事に対する意欲が好印象。ミスを恐れず先輩たちに教えを請い、第一線で活躍できていることを期待している」

北鹿で働く

ブルツンゴさん

山口 竣輔さん(20)

伊藤羽州建設＝大館市水門前

